

授業科目

視覚機能学演習II

担当教員名 石井 雅子、河内 了輔	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

授業の概要

いくつかのデータ・事例・文献からグループワークを通して視覚機能学について学習する。

授業の目的

ロールプレイを用いて、主な眼疾患の検査データの読み、検査・訓練、支援策について理解を深める。

学習目標

1. 主訴から必要な検査を計画できる。
2. 検査データを正しく読み取り、説明できる。
3. 必要な文献を検索することができる。
4. 課題をケースレポートにまとめ発表することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	課題1、小児の弱視・斜視の訓練	演習	石井 雅子、河内 了輔
2	課題検討	討議	石井 雅子、河内 了輔
3	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子、河内 了輔
4	課題2、糖尿病による視力障害と全身合併症	演習	石井 雅子、河内 了輔
5	課題検討	討議	石井 雅子、河内 了輔
6	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子、河内 了輔
7	課題3、眼科救急疾患の対応	演習	石井 雅子、河内 了輔
8	課題検討	討議	石井 雅子、河内 了輔
9	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子、河内 了輔
10	課題4、緑内障による視野障害とQOL	演習	石井 雅子、河内 了輔
11	課題検討	討議	石井 雅子、河内 了輔
12	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子、河内 了輔
13	課題5、コンタクトレンズの管理	演習	石井 雅子、河内 了輔
14	課題検討	討議	石井 雅子、河内 了輔
15	課題発表、ロールプレイ、まとめ	演習	石井 雅子、河内 了輔

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第二版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子（編）	文光堂	2011年	18,000円+税	
参考書	イラスト眼科	渡邊郁緒、新美勝彦	文光堂	2003年	5,500円+税	
その他の資料	適宜、プリントを配布する。					

評価方法

定期試験：70%
授業態度：20%
提出物：10%

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。

締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。
授業には毎回、iPadが必要である。
またグループワークでは1グループにパソコンを1台用意すること。
再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。

オフィスアワー・連絡先

毎週火曜日の昼休み
メール：ishii@nuhw.ac.jp
研究室：P309